



山 車 川 貝 村 森

かん字は いくつ つかっても ちがいます。  
〈れい〉森の まじりに 山が 見えます。

の中から すきな かん字を えらんで、文を つくってみましょう。

→ かん字の ひろば (1) の本の 「ページ」 の まじりに を します。

- ㉔
- ㉓
- ㉒
- ㉑

- ① たんぽぽの花が しぼむ。  
 ㉑ 水ぶんを うしなって ちぢむ。  
 ㉒ 色が だんだん うすくなる。  
 ㉓ 花びらが おちて なくなる。  
 ㉔ わた毛の らつかさんが すぼむ。
- ② わた毛の らつかさんが すぼむ。  
 ㉑ 水ぶんを うしなって ちぢむ。  
 ㉒ 色が だんだん うすくなる。  
 ㉓ 花びらが おちて なくなる。  
 ㉔ わた毛の らつかさんが すぼむ。
- ③ わた毛の らつかさんが すぼむ。  
 ㉑ 水ぶんを うしなって ちぢむ。  
 ㉒ 色が だんだん うすくなる。  
 ㉓ 花びらが おちて なくなる。  
 ㉔ わた毛の らつかさんが すぼむ。
- ④ わた毛の らつかさんが すぼむ。  
 ㉑ 水ぶんを うしなって ちぢむ。  
 ㉒ 色が だんだん うすくなる。  
 ㉓ 花びらが おちて なくなる。  
 ㉔ わた毛の らつかさんが すぼむ。



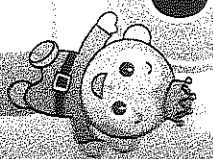
たんぽぽの花が しぼむ。  
水ぶんを うしなって ちぢむ。  
色が だんだん うすくなる。  
花びらが おちて なくなる。  
わた毛の らつかさんが すぼむ。

この はの ひろばの ひろばに、おん せの に ○ を つけましょう。

- ① 黄色
- ② 太らせる
- ③ わた毛
- ④ 風
- ⑤ 晴れる
- ⑥ しめり気
- ⑦ 人が多い
- ⑧ 高い

の かん字の 読みがなを 書きましょう。

5



たんぽぽの ちえ  
かん字の ひろば①

100点

山 教科書 第 24 頁  
200  
300  
400

日 月

① 文じもつを 読んで、 もんだいに いたえましよう。

(1) たんぼほの 花が さく  
きせつは いつですか。

(2) たんぼほの 花の 色は、  
どんな色から どんな色に  
かわりますか。

色から

色。

(3) 「たんぼほは、 かれて し  
まったのでは、 ありません」  
と ありますが、 たんぼほは  
どう して、 いますか。 つぎ  
の に、 あう ことばを  
書きましよう。

花と 花と

しずかに 休ませて、

に、 たく

さんの

を おくつて、 たねを どんどん

て いる。

色い きれいな 花が さきます。  
二、三日 たつと、 その 花は  
しぼんで、 だんだん ころっぽい  
色に かわつて いきます。 そう  
して、 たんぼほの 花の じくは、  
ぐつたりと じめんに たおれて  
しまいます。

けれども、 たんぼほは、 かれて  
しまったのでは、 ありません。 花

と じくを しずかに 休ませて、

たねに、 たくさんの えいようを

おくつて いるのです。 こうして、

たんぼほは、 たねを どんどん

太らせるのです。

たんぼほの せいちように ついて せつめ  
いして いる 文じようの、 さいしよの ぶん  
「なに」について 書いて あるのが、「こ  
の ことなのか、「どうして」 そうなつて い  
るのかに ちゆういして 読みましよう。



38) 文じよつを讀んで、もんだいに こだえまじよつ。

(1) わた毛の らつかさんが  
とおくまで とんで いく  
のは、どんな 日ですか。

10 さん

よく 晴れて、風の ある 日に  
は、わた毛の らつかさんは、いつ  
ばいに ひらいて、とおくまで と  
んで いきます。

でも、しめり氣の 多い 日や、

雨ふりの 日には、わた毛の らつ

かさんは、すぼんで しまします。

それは、わた毛が しめって、おも

く になると、たねを とおくまで

とばす ことが できないからです。

このように、たんぼぼは、いろい

ろな ちえを はたらかせて いま

す。そうして、あちらこちらに た

ねを ちらして、あたらしい なか

まを ふやして いくのです。

● つまねの としめ たいねの ちえ ちり

(2) わた毛の らつかさんが  
すぼむのは、どんな 日で

10 さん(1)(8)

すか。二つ 書きましょう。

~~~~~  
~~~~~

(3) たんぼぼは、どう やって あたらしい なかまを ふやして  
いくのですか。あう ものに ○を つけましょう。

10 さん

(あ) 虫に たねを はこんで もらう。

(い) おなじ ところに 花を さかせる。

(う) あちらこちらに たねを ちらす。

4) 上と下の ことばが つながるものに、—で おずびませじよつ。

あ おくる。

い のびる。

う たおれる。

え とばす。

- ① 大きさは、形、色を
- ② かたつむりの 体の 長さを
- ③ トマトの みの においを
- あ かぐ
- い 見る
- う はかる

① 上の 1と2はが つながるものに、—で おまひまじよう。

- ① ていねいに かんざつします。
- あ おもしろそうな ことだけを 見る こと。
- い とくに 目立つ ところだけを 見る こと。
- う ありのままの ようすを 気をつけて 見る こと。
- ② よく わかるように きろくする。
- あ わすれないように おぼえて おく。
- い あとに のこす ために 書きしるす。
- う たいせつな ことを えらびとる。

② ①の 1と2はの ひもといて、あつ ものに ○を つけまじよう。

- ① ものの 形。
- ② 花の 数。
- ③ 月 曜日
- ④ 体が 大きい。
- ⑤ 細い いて。
- ⑥ 手を 近づける。
- ⑦ 同じ 人。
- ⑧ 長さを はかる。

① かん字の 読みがなを 書きまじよう。

100点

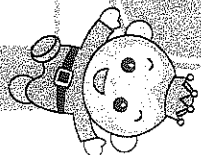
かんざつ名人になろう

時間 20分

めかく 80点

教科書 24ページ

日 月 日



- ④ 風で たねを とおくまで
- ③ せのびを するように ぐんぐん
- ② 「どんな 田ですか。」と 田「……田。」と だけえろ。
- ① たおれる
- ② とばす

③の文しよつを讀んで、もんだいに したえまじらう。

六月九日 (火) 雨  
だいのびるのびる

かたつむりが、となりのレタスにわたるところを、じつと見まし

まず、あたまをぐんぐんのばし

で、となりのレタスにつかまりま

した。体が、五センチメートルぐ

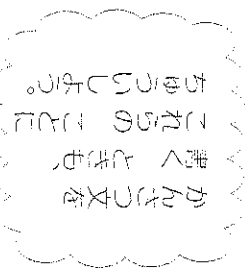
らい、細くのびました。

つぎに、のびしたところをちぢ

めながら、まえへすすみました。

そのとき、うしろは、しっぽのよ

うにのびていて、体をささえてい



かたつむりが、となりのレタスにうづ  
ところを、しかりと見て、かんじつした  
ものです。  
かんじつ文を讀むときは、  
どのようにかんじつしたか  
(見る・さわる・においをかく・  
きくなど)  
・ぐたいてきな 数字などに  
ちぢういしよ。

(1) この文しよは、どの

ようにかんじつしたもの  
を書いた文ですか。あう  
ものに○をつけまじらう。

① 見たもの。

② きいたもの。

③ さわったもの。

(2) だいが「のびるのびる」  
と なって いますか、な  
にか のびるのですか。

(3) かたつむりは、体をどの

ぐらい のびましたか。

(4) かんじつ の じゆんばんに

なるように、ばんじつを 書  
きまじらう。

① となりの レタスに  
つかまる。

② あたまを ぐんぐん  
のばす。

③ のばした ところを  
ちぢめながら、まえ

へ すすむ。



問題

この文章には、「そのあとに」「こ

わた毛の「など、たくさんの指示

語が出てきます。設問になっていない

指示語も、それぞれ何を指しているの

かを確認しながら読み進めるようにう

ながしましょう。指示内容は、原則的

に「前」から探す姿勢を身につけさせ

ましょう。

(1) 「よく晴れて、風のある日」とし

めり気の多い日や、雨の日の「とて

わた毛の飛び方のちがいを読み取り

ます。「」がなくても正解です。

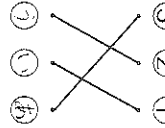
7

きほんのドリル

13 / 14 ページ

- ① かたち ② かず ③ ようび
- ④ からだ ⑤ ほそ ⑥ ちが ⑦ おな
- ⑧ なが

- ① ① ② ③
- ② ① ② ③



- (1) (E)
- (2) かたつわり(の体)
- (3) センチメートル(くらい)
- (4) (E) ② ① ③

問題

観察文は、対象をさまざまな方法(見

る・聞く・さわる。においをかく・は

かるなど)で観察した結果を、くわし

く記録したものです。

ここでは、観察文の読解問題を出題

して、家庭の学習では、観察

文を「書く」練習もさせたいところで

す。実際に「書く」ことで、どうい

うか、理

問題

わた毛の「など、たくさんの指示

語が出てきます。設問になっていない

指示語も、それぞれ何を指しているの

かを確認しながら読み進めるようにう

ながしましょう。指示内容は、原則的

に「前」から探す姿勢を身につけさせ

ましょう。

(1) 「よく晴れて、風のある日」とし

めり気の多い日や、雨の日の「とて

わた毛の飛び方のちがいを読み取り

ます。「」がなくても正解です。

8

きほんのドリル

15 / 16 ページ

- ① (E) フールに入るまえに、シヤワ
- ② (E) サッカーのしあいてゴールを

しをあびる。

きめる。

- ① (E) ② (E)
- ③ (E) ④ (E)

- ① ちようない ② にく ③ こがたな
- ④ き

- (1) ① 四さい ② 青い フスピース
- ③ リボン・白いぼうし
- ④ うさぎのぬいぐるみ

- (2) かりまで知らせる。

問題

かたかなで表記する言葉には、大き

く分けて次の二つがあります。

- ① 外来語を書くとき。
- ② 自然の音をまねたもの(擬声語・擬

態語)を書くとき。

ここではまず、①について学習しま

す。教科書にのっているもののほか、

国・地名・人名なども、かたかな表記

になります。あわせて確認しておきま

しょう。

「聞く」カを養うための教材です。

迷子のお知らせでは、名前・性別・年

齢・服装・持ち物などが、個人を特定

し、見つけるときの手がかりとなりま

す。特に気をつけて聞くようにしまし

よう。

9

まどめのドリル

17 / 18 ページ

- ① ダンス ② シヤワー ③ フット
- ④ ⑤ ⑥
- ⑦ ⑧ ⑨

- (1) (E) ① 木 ② 子 ③ 声 ④ 言 ⑤ 日 ⑥ 系
- (2) ⑦ ⑧ ⑨